

第5章 通貨の動きの予測は可能か？

リチャード・M・レビッチ

ニューヨーク大学、スターンビジネススクール、
ファイナンス、インターナショナルビジネス教授

通貨の動きの予測は困難であるという実証的証拠がいくつか示されている。しかし、市場の非効率性の存在など、いくつかの実証分析は通貨の動きが予測可能であることを示唆している。通貨の動きを予測する場合の留意点は、通貨変動の大きさの正確な予測よりもその方向性の予測のほうがより重要だということである。

通貨の動きは予測できるのかという疑問に対する答えは重要である。投資家が通貨の動きを予測できない場合、彼らはアクティブな通貨戦略を立てることができない。アクティブな戦略なしでは、投資家はパッシブな戦略に頼らなくてはならない。つまり、すべてヘッジするか、ヘッジしないか、もしくは通貨変動予測に基づくのではなくいくつかのルールに従ってヘッジを行うか、等である。

本章では通貨予測についての賛否両論について話したいが、私個人の率直な意見として予測は可能である。話を進めるにあたり、通貨の動きを予測するために私が開発した方法論の概要を提示するが、それは訓話的なものである。最初に通貨の予測を否定する事例について発表し、その後、逆に肯定する事例について考察する。そして、今後投資家が利用するであろう通貨予測の枠組みを一通り紹介し、最後に通貨の予測に有効ないくつかの実証的証拠を発表し、結論に至りたいと思う。